

# 令和元年度 わか杉チャレンジフェスティバル 問題用紙 (小学生の部)

エントリーナンバー	小      -      -	氏名	
-----------	-----------------	----	--

**注意** 答えは、解答用紙の解答らんを書いてください。それ以外の場所に行った場合は解答とみなしません。

I 1枚のカードに1つの文字が書かれた何枚かのカードを使って、次のような【約束】で筆算を完成させます。(1)~(3)の問いに答えなさい。

## 【約束】

**約束1** 計算式が成り立つように、それぞれのカードに0から9までの整数を入れます。

**約束2** 同じ文字のカードには同じ整数、異なる文字のカードには異なる整数が入ります。

(例)

$$\begin{array}{r} \boxed{\text{こ}} \boxed{\text{こ}} \\ + \boxed{\text{こ}} \boxed{\text{の}} \\ \hline 1 \quad 0 \quad 5 \end{array} \Rightarrow \begin{array}{r} \boxed{5} \boxed{5} \\ + \boxed{5} \boxed{0} \\ \hline 1 \quad 0 \quad 5 \end{array}$$

(1) 次は、今日の日にち9月28日にちなんだ筆算です。それぞれのカードに当てはまる整数は何か、答えなさい。

$$\begin{array}{r} \boxed{\text{あ}} \boxed{\text{あ}} \\ + \boxed{\text{あ}} \boxed{\text{き}} \boxed{\text{た}} \\ \hline 9 \quad 2 \quad 8 \end{array}$$

(2) 次は、秋田県全域をホームタウンとするプロサッカーチーム「ブラウブリッツ秋田」が始動した1965年にちなんだ筆算です。それぞれのカードに当てはまる整数は何か、答えなさい。ただし、 $\boxed{\text{ツ}}$ と $\boxed{\text{ッ}}$ には同じ整数が入ります。答えは、2通り考えられますが、そのうち1つ答えなさい。

$$\begin{array}{r} \boxed{\text{ブ}} \boxed{\text{ラ}} \boxed{\text{ウ}} \\ + \boxed{\text{ブ}} \boxed{\text{リ}} \boxed{\text{ッ}} \boxed{\text{ッ}} \\ \hline 1 \quad 9 \quad 6 \quad 5 \end{array}$$

(3) 次は、秋田を代表する名産品と天然記念物、今年の今日の日にち(2019.09.28)にちなんだ筆算です。それぞれのカードに当てはまる整数は何か、答えなさい。ただし、 $\boxed{\text{イ}}$ 、 $\boxed{\text{ヒ}}$ は0ではありません。答えは、2通り考えられますが、そのうち1つ答えなさい。

$$\begin{array}{r} \boxed{\text{イ}} \boxed{\text{ブ}} \boxed{\text{リ}} \boxed{\text{ガ}} \boxed{\text{ッ}} \boxed{\text{コ}} \\ + \boxed{\text{ヒ}} \boxed{\text{ナ}} \boxed{\text{イ}} \boxed{\text{ド}} \boxed{\text{リ}} \\ \hline 1 \quad 9 \quad 0 \quad 9 \quad 2 \quad 8 \end{array}$$

Ⅱ 令さんは、1 から□までの整数をすべて加えたときの和に関心をもち、電卓で調べてみました。たとえば、□が10のときは、 $1 + 2 + 3 + \cdots + 10$  で和は 55 になります。同じように、□が 20, 30,  $\cdots$ , 100 のときの和  $1 + 2 + 3 + \cdots + \square$  を調べ表にまとめると、次のようになりました。

□	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
$1 + 2 + 3 + \cdots + \square$	55	210	465	820	1275	1830	2485	3240	4095	5050

この表を参考にして、(1), (2)の問いに答えなさい。

(1) 最初の数を 4 として、そこから 4 ずつ増えていく 20 個の数 4, 8, 12, 16,  $\cdots$ , 76, 80 が並んでいます。これらの数の和  $4 + 8 + 12 + 16 + \cdots + 76 + 80$  はいくらか、答えなさい。

(2) 令さんは、最初の数が何であっても、同じ数ずつ増える整数の和であれば、上の表を利用して計算で簡単に求めることができると考えました。

① 最初の数を 3 として、そこから 4 ずつ増えていく 100 個の数 3, 7, 11, 15,  $\cdots$ , 395, 399 が並んでいます。これらの数の和  $3 + 7 + 11 + 15 + \cdots + 395 + 399$  はいくらか、答えなさい。

② 図のように、中心が同じで、半径が 1 cm, 2 cm, 3 cm,  $\cdots$  の円を描き、内側から各部分を白と黒で交互に塗っていきます。各円で黒く塗られた部分の面積について、次の  に数値を書きなさい。

半径が 4 cm の円の場合、黒い部分は大小 2 か所あり、その面積の合計は  $31.4\text{cm}^2$  です。また、半径が 40 cm の円の場合、黒い部分の面積の合計は   $\text{cm}^2$  です。ただし、円周率を 3.14 とします。

半径が 1 cm  
の円の場合



半径が 2 cm  
の円の場合



半径が 3 cm  
の円の場合



半径が 4 cm  
の円の場合



半径が 5 cm  
の円の場合



半径が 6 cm  
の円の場合



$\cdots$

Ⅲ 令子さんは、身の回りにあるデジタル機器に関心をもち、デジタル機器が、どのように数字を表示しているかを調べました。0 から 9 までの数字は、図 1 の①～⑦の部分点を減せると、図 2 のように表示されていることが分かりました。(1)～(3)の問いに答えなさい。

図 1

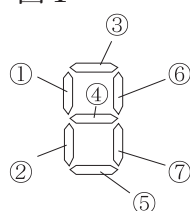
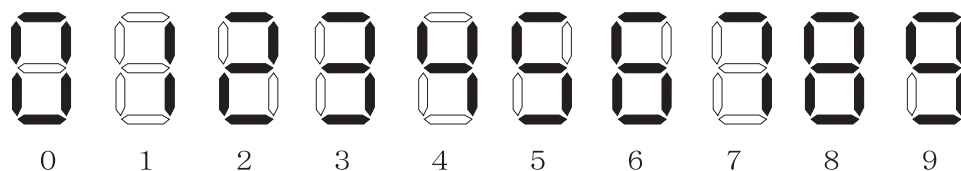


図 2



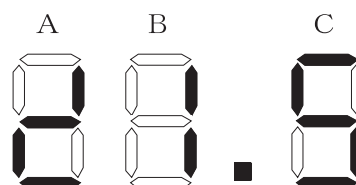
(1) ①, ②がこわれていて点灯しないため、正しく表示されない場合があります。図 3 のように表示されているとき、正しい数字として考えられるものを **3つ** 答えなさい。

図 3



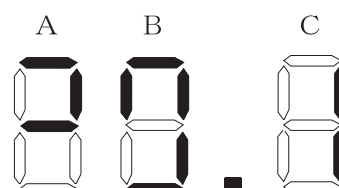
(2) 令子さんはデジタル表示の水温計をもっています。ある液体の温度を調べたところ、図 4 のように表示されていました。よく調べてみると、A, B, Cそれぞれについて、①～⑦のうち 1 か所ずつこわれて点灯しない部分のあることがわかりました。このとき、ある液体の温度の値としては 21.9 が考えられます。これ以外に、考えられる温度の値を**すべて**答えなさい。

図 4



(3) 図 5 の A, B, Cそれぞれについて、①～⑦のうち 1 か所または 2 か所がこわれて点灯しない部分のある水温計があります。令子さんが、この水温計で 2 種類の液体の温度を測ったら、どちらも図 5 のように表示されていました。2 種類の液体の温度差を求めるとき、考えられる最大の温度差は何度か、答えなさい。

図 5

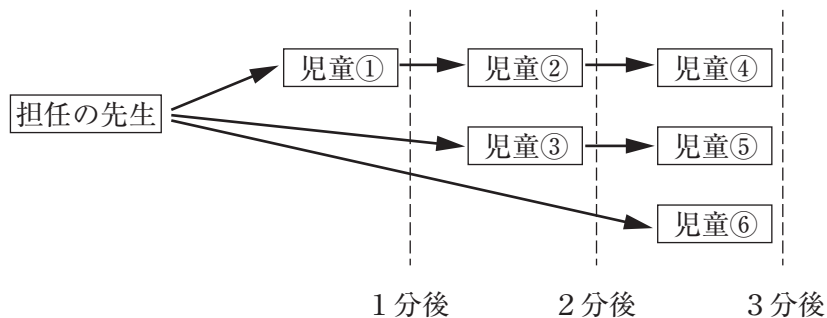


IV あるクラスで、クラスの緊急連絡網を次の【条件】で作ることにしました。図1は、クラスの担任の先生が連絡を始めてから3分後までの様子を表したものです。このとき、(1)～(3)の問いに答えなさい。ただし、不在等で連絡を受けることのできない児童はいないものとし、電話連絡にかかる時間は1回の通話につき常に1分とします。

【条件】

- A 連絡は一人ずつ直接電話でする。
- B 最初は担任の先生が連絡を始める。全員に連絡が伝わるまで、先生は一人の児童への連絡が終わったら、さらに次の児童へ連絡をする。
- C 連絡をもらった児童は、次の児童一人だけに連絡をする。

図1

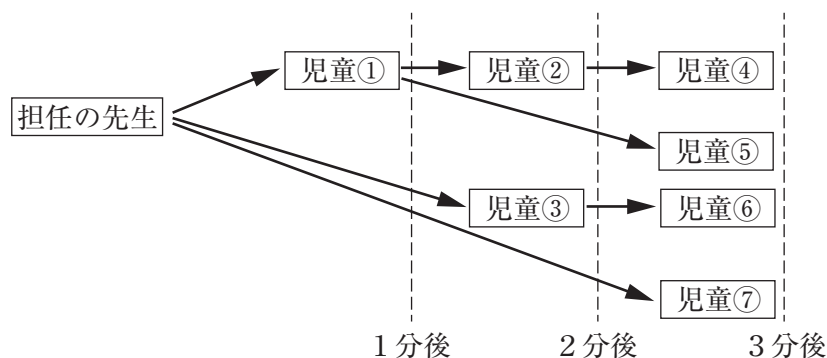


- (1) 担任の先生が連絡を始めてから4分後までに連絡が伝わっている児童の人数を答えなさい。
- (2) クラスの児童が40人のとき、クラス全員に連絡するには何分かかかるか、答えなさい。
- (3) 担任の先生は、連絡時間を短縮するために、【条件】のCを次のように変更しました。図2は、変更した条件で連絡をしたとき、担任の先生が連絡をしてから3分後までの様子を表したものです。

【条件】

- C' 連絡をもらった児童は、次の児童一人にだけでなく、担任の先生と同じように、一人の児童への連絡が終わったら、さらに次々と児童に連絡をする。

図2

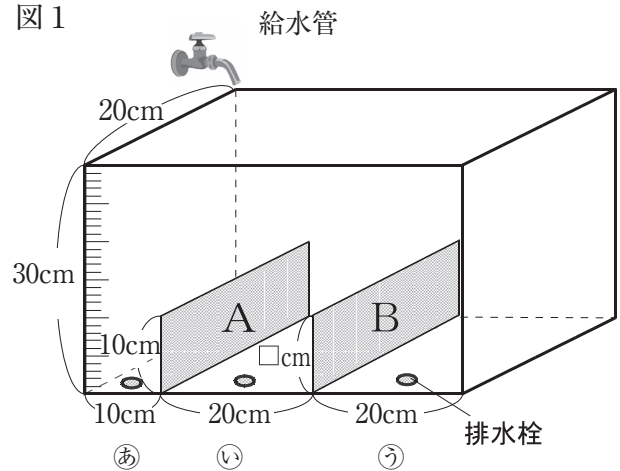


- ① 担任の先生が連絡を始めてから3分後から4分後までの1分間に連絡を受ける児童の人数を答えなさい。
- ② クラスの児童が40人のとき、クラス全員に連絡するには何分かかかるか、答えなさい。

V 図1のように、直方体の容器があります。この容器は、高さ10cmの仕切りA、高さを変えることのできる仕切りBによって㊟、㊢、㊤の3つの部分（フタのない直方体）に分けられています。この容器には、1本の給水管から㊟の部分に一定の割合で水を入れることができ、水の高さが仕切りを超えると、水は隣の部分にあふれながらたまっていきます。また、㊟、㊢、㊤の各部分の底面には排水栓があり、栓を開けるとそれぞれ1秒間に $100\text{cm}^3$ の一定の割合で排水できるものとなります。容器の左側には目盛りがついていて、たまった水の高さを測ることができます。はじめに、給水管と排水管はすべて閉じているものとして、(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 仕切りBの高さを10cmとします。

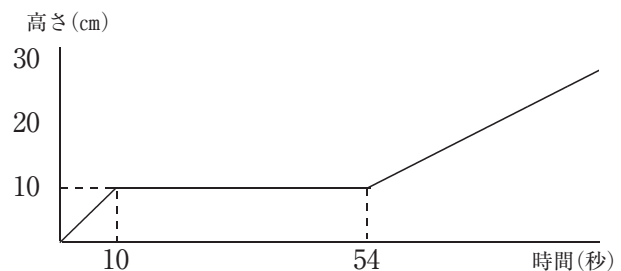
図1



- ① 1秒間に $100\text{cm}^3$ の一定の割合で給水管から水を入れるとき、水を入れ始めてから10秒後の㊟の部分の水の高さは何cmか、答えなさい。

- ② 1秒間に $200\text{cm}^3$ の一定の割合で給水管から水を入れはじめて、何秒かして㊟の排水栓だけを開きました。図2はそのときの時間と水の高さを表したグラフです。㊟の排水栓を開いたのは、水を入れ始めてから何秒後か、答えなさい。

図2



- (2) 1秒間に $400\text{cm}^3$ の一定の割合で給水管から水を入れはじめてから、10秒後に㊟、㊢、㊤の排水栓を同時に開きます。給水管から水を入れ始めてから224秒後に容器が満タンになるとすると仕切りBの高さは何cmか、答えなさい。

Ⅵ 和人さんの小学校は、各学年4クラスずつあります。9月に、5年生と6年生は各学年ごとにサッカーのクラス対抗戦を次の【ルール】で行いました。

【ルール】

- ・4クラスが、それぞれどのクラスとも1回ずつ試合（総当たり戦）を行う。
- ・勝ち、引き分けによって、決められたポイントがクラスに与えられる。
- ・ポイントの合計が最も多いクラスを優勝とする。

表1は、5年生の対戦結果をまとめたものです。また、表2は、6年生の対戦結果をまとめようとして、ポイントの合計だけを記入したものです。このとき、(1)～(3)の問いに答えなさい。

表1 5年生の対戦結果

	対戦相手				ポイントの 合計
	1組	2組	3組	4組	
1組		○	△	×	5点
2組	×		×	×	0点
3組	△	○		×	5点
4組	○	○	○		9点

表の見方…1組は2組に勝ち、3組と引き分け、4組に負け、ポイントの合計は5点である。

表2 6年生の対戦結果

	対戦相手				ポイントの 合計
	1組	2組	3組	4組	
1組					5点
2組					2点
3組					6点
4組					8点

- (1) 引き分けのときにもらえるポイントは何点か、答えなさい。
- (2) 6年生の対戦結果の表を完成させなさい。
- (3) 同じ【ルール】で対抗戦を行ったとき、次のア～エのような結果が起こることはありますか。可能性があるものの記号を1つ選び、そうなる場合の対戦結果の表の具体例を書きなさい。

ア ポイントの合計が5点で、同点のクラスがなく、そのクラスの優勝が決定する。

イ 合計が2点、4点、6点、8点のクラスが1つずつある。

ウ ポイントの最高点と最低点の差が6点になる。

エ 4クラスのポイントの合計が23点になる。